

ほりぐち じゅんや
堀口 順也こうめいとう きいんだん
公明党議員団

指定外の難病にヘルプマークの導入を

問 公明党の推進で制定された難病医療法に基づく難病対策の新制度が今年1月から始まり、7月には医療費助成対象者の指定難病は、196疾病が追加され、合計306疾病に拡大した。

今回、指定難病に入らず、さらなる研究が望まれる病気は、せんい きんつう線維筋痛症、のうせきずいえきげんししょう脳脊髄液減少症、化学物質過敏症など多くある。

これらの症状への配慮を知らせるヘルプマークの導入を。

答 ヘルプマークの導入に向けては、一つの市だけで取り組むのではなく、より広域で取り組むことで実効性のあるものになると考えていることから、既に当該マークを導入している東京都の事例を三重県へ情報提供し、導入に向けた検討について働き掛けを行った。

三重県からはユニバーサルデザインのまちづくりを進めていく上で、今後検討していくべき取り組みの一つであるとの考えが示されていることから、導入に向けた検討が進められるものと考えている。

導入となれば、津市としても当該マークの周知啓発等、積極的に対応していく。

●その他の質疑・質問●

- 森林セラピー基地について
- 地域産業活性化について
- 買い物環境整備について
- 廃校施設の有効活用について
- 移住・交流促進について
- ひとづくり支援について
- ICT活用促進について
- 小規模水力発電・風力発電・バイオマス・太陽光発電導入促進事業について



(提供) Sansan株式会社

▲光ファイバー網の整備で若者が田舎で仕事しやすい環境を

むら た あき ひさ
村田 彰久しみんくらぶ
市民クラブ

夏の甲子園に出場した津商業高校への支援は

問 今年開催された第97回全国高等学校野球選手権大会は、第1回大会が開催されてから100周年の節目を迎えるとのことで、開催前から大きく報道され、大いに盛り上がりを見せた。

同選手権大会三重大会において優勝し、夏の甲子園へ初出場を果たした県立津商業高等学校に対し、津市はどのような支援を行ったのか。

答 甲子園出場に伴う津市訪問歓迎セレモニーとして市役所本庁舎に懸垂幕を設置し、市民の皆さんと市職員とで監督、選手、関係者の皆さんを迎え、激励金の目録贈呈等を行った。

また、1・2回戦ともに試合当日には市長が甲子園へ応援に駆け付けた。地元では本庁舎のロビーにて市民応援観戦会（パブリックビューイング）を開催したところ、1回戦では津商業高等学校から提供いただいた「応援うちわ」280本と水道局支給の「津市のおいしい水」240本、2回戦でも「応援うちわ」280本が不足するほど市民の皆さんが応援に駆けつけ、大いに盛り上がった。

津商の全力プレーは津市民に大きな夢と希望、そして元気を与えてくれたと思っている。

●その他の質疑・質問●

- 報告第34号 専決処分の報告について及び議案第94号 損害賠償の額の決定について
- 選挙管理委員会の期日前投票について



▲盛り上がりを見せた本庁舎でのパブリックビューイング